

ふれあい

第68号(令和2年3月31日)

阿品台コミュニティ 事務局(TEL39-4338)

阿品台地区人口・世帯数(令和2年2月1日現在)

人口 7,421人(64人減) 男3,362人 女4,059人

世帯数 3,345世帯(9世帯減)・高齢化率 39.4%(0.1%増)

()内の数値は令和元年10月1日との比較

阿品台 近年世帯数が増加？

阿品台は昭和52年に分譲が開始され、学校や商業施設等が揃って生活環境が整備された地域でした。時代と共に少子高齢化が加速し、核家族も進み阿品台の人口も年々減少、高齢化率は39.4%と全国平均(28.1%)を大きく上回っています。しかし近年、生活環境の整った阿品台に移り住む若い人が増えています。2～3年前から一区画を二つに分けた新築住宅が見受けられるようになり、この間約200世帯が転入し子供たちの元気な声も多く聞かれるようになりました。そんな皆さんにスポットを当てアンケートに答えていただきました。



Q 1. 移住を決断した理由

- A
- ・ 親が近くに住んでいる
 - ・ 職場が近い
 - ・ 環境が良く子育てするには良い
 - ・ スーパーが近く歳をとっても住みやすそう
 - ・ ハザードマップで安全な地域
 - ・ 団地内の施設が充実している(学校、スーパー、クリニック)
 - ・ 交通アクセスが良い。JR・広電は歩行圏内でバスも運行、西広島バイパスで広島市内まで30分程度。
 - ・ 災害が少ない(津波がこない、土砂災害がない、液状化がない)
 - ・ 町内の方がとても礼儀正しい
 - ・ 近隣の団地と比較して町内が綺麗に維持されている

Q 2. 住んでみて良かったことなど(素直な感想)

- A
- ・ 自治会が活発
 - ・ 生活レベルが高い
 - ・ 周りに住んでいる方が優しく親切で良い人ばかり
 - ・ 静かでスーパーや銀行、病院も近く住みやすい
 - ・ 周りの人も高齢の方が多く、子供へも優しく対応してもらい話しやすい
 - ・ 海も山も近いので遊びに行きやすい
 - ・ ゴミの分別が楽、ゴミステーションが近い
 - ・ 公園が多く子供が住みやすい
 - ・ 職場へ朝の通勤時間が短くなった
 - ・ 宮島が近く気軽に遊びに行ける、花火大会も家から見えた
 - ・ 歩道や公園など綺麗にして下さり気持ち良く過ごせる
 - ・ 行事が多い
 - ・ 人が穏やかで静か

Q 3. 驚いたことやイメージと違ったことは

- A**
- ・バスの本数が少ない
 - ・意外と不審者が多い
 - ・空き家が多く子供が少ない。人通りも少ない
 - ・想像以上に広島市内へのアクセスが良かった
 - ・想像よりも子供と同年代の子が多い
 - ・ゆめタウンやアルク等があり生活に全く困らない
 - ・映画を見たい時もアルパーク北棟まで車ですぐに行ける
 - ・車がないと不便ということが分かった
 - ・人の温かさ

Q 4. その他感じたことは

- A**
- ・敷地内に猫が入ることが多い
 - ・町内放送が聞こえない
 - ・立地条件に対して評価額が低すぎる（JRと広電が徒歩圏内、高速のインターも近く西広島バイパスで広島市内まで信号4つで行ける。これだけでも明らかに土地単価が安い）
 - ・野犬が多く糞尿や夜中の猫の鳴き声が少し気になる。（ネコアレルギーのため）
 - ・住んでいない家が割と多い
 - ・阿品台の魅力を発信するのであれば阿品台以外の方が見るものに掲載した方がいいと思うのですが（市の広報誌、ホームページなど）



新築風景(令和2年2月)

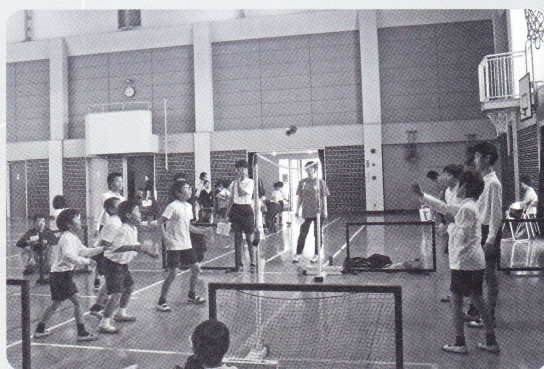


きらり広場

開催されました。

校舎内では理科あそび、お化け屋敷、きらりステージなど、屋内運動場ではグラウンドゴルフ、インディアカ、カローリング、輪投げ、折り紙体験が行われました。

10月19日(土)12:15から阿品台東小学校で保護者や地域のボランティアの皆様による企画のもと



とんど祭り

阿品台二丁目町内会主催、今年で36回目の開催となるととんど祭りが、同町内の集会所と第2公園を利用して1月12日(日)11時過ぎ、ぜんざいの振る舞いから始まりました。その間、アコースティックインストデュオ「さらさ」によるハープとギターの演奏で公園がしばし安らぎました。クライマックスは12時30分から今年の年男、年女のみなさんによりとんどに点火。

多くの参加者が今年一年の無病息災と幸運をお祈りする火祭りでした。翌日13日(祭)は一丁目町内会でも光の園を会場に開催されました。

令和元年阿品台コミュニティ後期事業

令和元年度阿品台敬老会

9月29日(日) 阿品台市民センター1階 大研修室で阿品台敬老会が開催されました。招待されたのは、今年度77歳(喜寿)、80歳(傘寿)、88歳(米寿)、90歳(卒寿)、99歳(白寿)以上の方々と、約70名の方が出席されました。

主催者や来賓の方々の挨拶・祝辞の後、阿品台東保育園の園児たちの歌と踊りや佐伯町の劇団「あじさい」の振り込み詐欺の演劇が披露されました。その後、町内会毎に記念の集合写真を撮影しました。



自主防災訓練

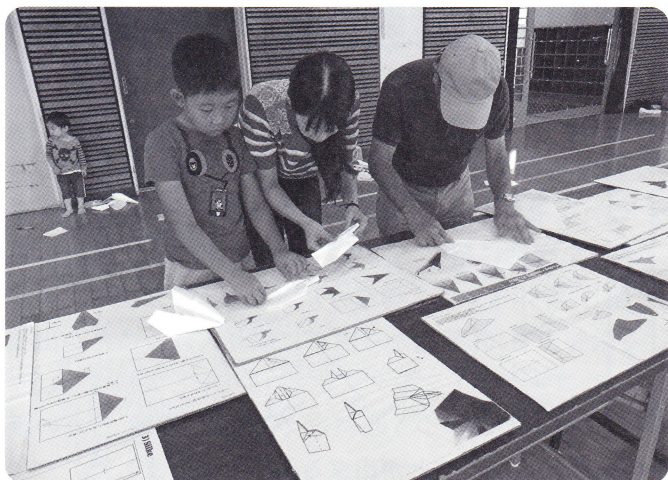
令和元年度の自主防災訓練が11月17日(日)8時15分地震発生の訓練無線放送と共に始まりました。訓練会場は阿品台西小学校の体育館です。町内会毎に訓練に参加した人は、①人工呼吸蘇生体験 ②討論会(イ)台風土砂災害 (ロ)地震による減災対策 ③炊き出し ④展示(避難グッズ、家具固定)などに分かれて体験しました。



青少年・体育部

紙ヒコーキ大会

10月6日(日)9時から11時30分まで東小学校体育館で2019年度紙ヒコーキ大会が開催されました。参加者は子供から大人まで役員を含めて30名。紙ヒコーキの作成に始まり、飛行距離と対空時間の2部門で競い合いました。競技の途中には90歳の方の飛び入り参加があり、主催者側からねぎらいの意味を込めて敢闘賞が送られました。



「火の用心」夜回り【地安部共催】

12月14日(土)午後6時から阿品台地区「火の用心」夜回りパトロールが行われました。一・二丁目コース、三・四丁目コース、五丁目・五丁目上・グランドヒルズコース、北コースの4グループに分かれ、要所要所で「火の用心」の掛け声と拍子木を打ち鳴らしながら子ども38名を含む112名の参加者が区域内をパトロール車と共に巡回しました。



地安部・町連部・公衛部

阿品・阿品台各学校通学路清掃活動

2020年2月8日(土)日赤広島看護大学、廿日市西高等学校、阿品台中学校、阿品台東・西小学校の各学校通学路の清掃活動が3年ぶりに開催されました。地元阿品台から阿品、宮島口東に跨る通学路の清掃を実施、各学校の学生、生徒、児童、それに町内会からのボランティアを含む総勢510名強の参加者がありました。

8時30分の開会式の後、16班に分かれて各担当区域の清掃活動が始まりました。日頃余り目にしない光景までバラエティーに富んだ内容もあり、多くのグループが1時間30分位掛けて通学路のゴミを集めました。閉会式後、恒例の「メロンパン」を貰って解散となりました。協力して頂いた皆さん、寒い中の作業お疲れ様でした。



文化・女性部

秋の日帰り研修旅行 ～ベンガラのみち備中・吹屋の町並みを訪れて～

○日時:11月1日(金)7:45～19:40 ○参加者44名

江戸から明治にかけて鉾山の町として栄えた、吹屋ふるさと村(岡山県・備中)を訪ねました。広兼邸は銅山とベンガラの原料製造を営み巨大な富を得て築かれた屋敷である。中でも石垣は城郭と見間違えうばかりで、映画の「八つ墓村」のロケ地としても知られています。また、吹屋は旧片山家住宅、郷土館など多くの建物が赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一さら、見事な町並みが保存されています。その後訪れた神庭の滝は日本の滝100選に選ばれており、水量豊かな豪快な大迫力の滝にマイナスイオンを身体いっぱいに入りました。



ワインコンサート

12月7日(土) 18:30から阿品台市民センター大研修室で開催されました。(参加者60名)

バイオリンの岡田淑子さん、ピアノの桑原眞由美さん、バンドネオンの恵島広幸さんのユニット「ロス・チフレードス」によるタンゴ曲に魅せられた楽しいひと時でした。



フラワーアレンジメント作り

～あなただけの素敵な正月飾りを～

○日時:12月13日(金)13:30～15:30

○場所:阿品台市民センター大研修室

○参加者22名

吉和で活動されているミントハウスの酒井先生に今年も忙しい中指導頂きました。今回は正月飾りをテーマにフラワーアレンジメント作りに挑戦、自分なりに慎重に飾り付け初春を迎えるにふさわしい、華やかで素敵な作品を作り上げる事が出来ました。

料理教室「みんなで楽しくクッキング」

○日時:1月22日(金)13:30～15:30

○場所:阿品台市民センター調理実習室 ○参加者23名

「苦手な乳製品をもっとおいしく・楽しく・素敵に調理してみませんか」のコンセプトの元、森永乳業のM'sキッチン栄養士 東(ひがし)さんを講師に招いて開催しました。今回は「運動応援コース」と題し、身体造りに大切なカルシウムやビタミンの働きを助ける栄養素を、乳製品から簡単に取り入れることが出来るメニューで、ヨーグルトミルクプリン・切り干し大根さっぱりサラダ・さば缶のふわふわつくねバーグの3品に挑戦、日々の献立にも手軽に取り入れることが出来る講座となりました。